

合格率を高めるためには、 「教育指導者と管理責任者の連携」が重要!! 【受験者の言語能力】は、個人だけでは高まらない。

ことばの研究社

- ※ EPA 介護士国家試験は、既に 6 回行われたが、合格率が一向に高まる傾向が見られない。6 年間の合格率平均は 43.2%であり、50%を超えたのは H28 年だけだ。
- ※ また、看護師国家試験では、7 年間の合格率平均は 7.7%にしかすぎない。特に、看護師試験は、EPA 受験者が合格するには、非常に困難な試験と捉えられている。その結果、看護師不足に対する対応力が確保できない。

- ※ 合格率の低さの原因は、必ずしも専門知識不足だけに原因があるとは言いきれない。EPA 受験者は外国人でありながら、日本人と同じ試験問題に対応しなければならないからだ。
- ※ この観点から、教育指導者と管理責任者の連携が重要であり、統一した計画的な受験者対応が必要で、その結果、合格率の向上が可能となることに注目。

I、【なぜ、合格率が低いのか？】

- 多くの職員は、「専門用語や知識が養われていないから合格できない」とか、「日本語力がないから」と言っているが、表 1 のように合格率が低い原因は、【日本語に対する対応能力】がないからだ。
- 言語には「規則性・用法・活用・運用・利用・語感・文化観」の 7 種類がある。特に、法制度の問題は、「文化観」が非常に重要だ。従って、この 7 種類を習得しない限り、合格できないし、例え合格できても、業務での対応能力が不十分な人材となる。
- 合格率を高めるためには、言語能力の基盤となる言語技能を理解した上で、教育することが重要だ。

II、【なぜ、国別合格率の差が小さいのか？】

- 来日前の日本語学習時間は、母国で 864 時間以上の教育を受けている。なお、来日直後の集中研修では、700 時間以上を受けており、両国の学習時間量には大きな差異はない。（月報 59 号参照）
- 表 2 の国別合格率の差が小さい理由は、学習時間量が同じであること。そして、テキストは対訳本を使っていること。さらに、入職後は事業団教材も対訳本であるために、「対訳する癖が身についている」ことが僅差の理由と言える。
- その結果、【日本語を日本語だけで考える力】を養えず、対応能力がない。そのため、試験問題に「瞬時に対応する能力」が身につかず、合格率が低い。これが両国の合格率の差を小さくしている理由だ。

III、【三位一体でなければ、合格できない!!】

- 表 3 は、「受験者と教育指導者と管理責任者の関係」を図式化したものだ。その結果、受験者の受験能力が順調に養われて、国家試験合格能力が身につくという考え方だ。
- 外国人である受験者は、日本人の協力なしでは単独で国家試験に合格することはできない。この観点から、教育指導力と管理能力と受験者能力とを結合することで、より効果的な教育が行われて、合格に結び付けることの重要性を認識する必要がある。

表 1 【5 年間の合格率】

※ 6 年間の平均合格率は、43.25%

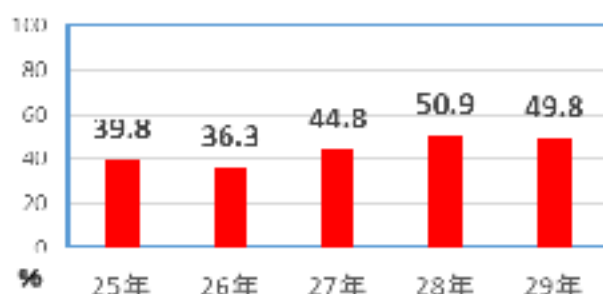


表 2 【国別合格率】

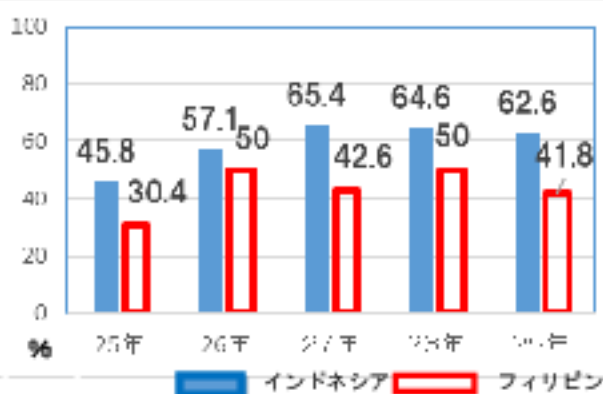
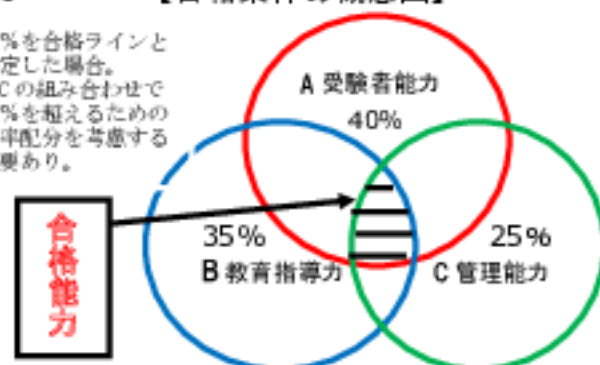


表 3 【合格条件の概念図】

70%を合格ラインと設定した場合、ABCの組み合わせで70%を超えるための比率配分を考慮する必要があります。



IV、[こうすれば、受験者対応が円滑に !!]

- 受験者は「施設と労働契約を結んだ者」であることを、再認識する必要がある。特に、日本人職員と決定的な違いは、受け入れに対する諸費用を一人当たり 100 万円以上、投資している。間接的な投資（宿舎・備品等）を考えると、その額はさらに高くなる。（月報 76 号参照）
- 外国人に対して、特別な対応をすることが当然のように考えている日本人が多いが、給料を払う以上は日本人と同等の扱いをしない限り、外国人は逆に、特別扱いが当然と考える。よって、表 4 の 5 箇条を実行することで、彼ら自身の意識を変革させて、職場での融合を図る必要がある。

表 4 【管理の仕方の最低 5 箇条】

- 第 1 条 特別待遇（お客様扱い）をしない
- 第 2 条 就業規則の遵守（日本人と同等）
- 第 3 条 報告義務の徹底（日本語だけで）
- 第 4 条 就業優先の徹底（日本語だけで）
- 第 5 条 自己責任の徹底（日本語だけで）

V、[こうすれば、教育効果を上げられる !!]

- 表 5 は「教育指導者の選び方の基準」で、本質的な要素だけを取り出したものだ。特に、表 4 の第 1 条「特別待遇」の側面が現れるのは、表 5 の第 1 条「教育機関の選定は施設が行う」との関係で明確に現れる。
- その意味は、受験者に教育方法を選択させると、受験者は「EPA の友達が集まる所で学習したいとか・一日仕事をしないで、都会に行けるから」等の本音があり、教育とは無関係になる。この特別対応に、日本人職員からは不満の声が噴出し、受験者との人間関係が不安定となる。
- 日本人職員との融合がなければ、職場での業務遂行能力や、意思疎通能力は向上しない。その結果、長年在籍しても、日本人との人間関係がないために、日本語力も向上せず、また、職務上で得られるはずの専門用語や知識等が得られないままに、帰国せざるを得ない。
- 教育効果を上げるために最も大事なことは、【教育環境の整備】だと気づく必要がある。その意味で、職場も教育環境の大切な一つだと、認識することが重要だ。
【日本語を日本語で考えて理解する力を養う】ためには、表 5 の第 2 条が絶対条件となる。受験者は入職前までは対訳をしながら、日本語を学んできた。その結果、【日本語と母国語の概念の差】を気付かずに、間違っただ訳を習得していることに、職員は気づく必要がある。

表 5 【教育指導者の選び方 5 箇条】

- 第 1 条 教育機関の選定は、施設が行う
(受験者の希望を絶対に聞かないこと)
- 第 2 条 直接法（対訳をしない）での、
教育指導を選択する
- 第 3 条 教育成果（数値で評価）と、指導
内容を助言する機関を選択する
- 第 4 条 日本語教育の専門家を選択する
(ボランティア・自称日本語教師は含まず)
- 第 5 条 マークシート教育を選ばない

- 表 5 の第 5 条は、選択能力だけを重要視した教育方法だ。即ち、「読めても書けない人間」を創り出す教育方法だ。外国人は、日本語の文書を書くことが難しいと感じている。その結果、日本社会で必要な「報告書や日記等」を書けずに、一般業務につけない外国人が多い。
- また、自称日本語教師の教育は「言葉の説明」だけをするため、論理的に理解できない。その結果、受験者の大脳の中は、「言葉を詰め込んだ未整理の状態」となっていることに認識すべきだ。

VI、[こうすれば、確実に合格させられる !!]

- 入職直後から国家試験日までを逆算して、約 3 年間の学習期間を 3 節に区分し、表 6 のように【三年間学習計画】を作る必要がある。1 年目は徹底的に、「日本語力を身につけさせることを目的」として、今まで学んできた「未整理の日本語を整理整頓させる指導」が極めて重要だ。
- 整理方法は、【日本語の規則性・用法・運用・活用・利用】に精通した教師があらなければ、整理整頓はできないことに気付くべきだ。即ち、表 5 の第 2 条から第 4 条を着実に実行すれば、日本語力は十二分に習得することができる。
- 2 年目から専門領域の学習を始め、3 年目には「合格能力までを養う計画」が必要だ。特に、3 年目は専門者である介護士の現場指導と、参考書を基とした教育が是非とも必要で、合格率を高めるためには「三位一体」が重要だ。（表 3 参照）

表 6 【三年間学習計画】



現場の声

職員が指導しているが、困り果てる！！

- 現場の職員が週1回、日本語学習や受験対策を入職時から指導してきたが、効果が全く感じられずに困っていた。そこで、ことばの研究社の「10分間テスト」に参加して、言語能力を判定してもらったが、その結果は、日本人の3歳児レベルと判定された。
- 現場職員は、正式に【到達度試験】に参加したくても、施設の都合で、できなかった。二年目になると、学習に対する意欲さえ高まらず、宿題もしない状態が続いている。職員は、どう指導すれば良いのかが分からず、ただただ困惑してお手上げ状態が続いている。

(岡山県・S施設)

ボランティア教師では伸びない……！！

- 入職して半年が経過した頃、施設近くのボランティア教師が見つかり、その人に一年近く教えてもらっている。しかし、N3は何とか合格できたが、日本語文を正しく書ける力はまだない。【月報】を毎号読んでいるが、書く力を身につけることは本当に難しいと感じている。
- 二年目の受験対策に入り、国家試験問題を解く上で、問題を読み進めることが正直、難しいので、ボランティアの教師では対応が無理だと分かる。やはり、専門的に教えられる教師が必要だと実感した。(神奈川県・V施設)

学習意欲自体がないので、困る！

- 受験者の学習は、日本語教師には指導を依頼していない。現場の職員が二人で、日本語教育をしているが、素人なので上手く教えられない。
- 日本語力を高めようと宿題を出して、自宅でするように言っても、しない状態が続いている。学習意欲自体がないので、どうしたら良いものか困っている。(千葉県・C施設)

学習意欲が高まらない本当の理由は？

- 入職直後から日本語教師に任せ、指導している。日本語では、N2やN1を取得できるレベルにはなってきた。だが、2年3年目の受験対策になると、「自学能力」が養われていないために、学習意欲もなくなってしまう傾向にある。
- 受験対策の時間は週一回、日本語教師に任せて指導しているのに、学習意欲が高まらない理由は、専門用語が多い授業だからという理由だけなのだろうか。(岐阜県・S施設)

日本語力を高めないと、合格は無理！

- 入職してずっと、大阪にあるEPA候補者が集まって勉強している専門学校に通学させていた。同じ候補者がいるため、よいだろうと思って通わせたが、正直、日本語力は全くと言っていいほど伸びなかった。
- 専門学校で日本語と専門知識を両方学べるために、病院職員はほとんど指導してはいなかった。今年2月に受けた試験が最後のチャンスだったので、合格できれば日本に残れるが、落ちたら帰国するしかない。やはり、合格するには日本語力が身につけていない限り無理だ。

(兵庫県・B病院)

専門用語・知識力の問題ではない！！

- 日本語教師はつけずに、看護師が日本語を教えながら、専門知識を中心に指導している。看護師は試行錯誤しながらでも、それなりに現場で対応しているが、総務の立場から見ていると、試験問題に対応する力がないと感じている。
- 専門用語や知識を習得するという以前に、日本語のレベルが低いので、試験問題を読める状態に至っていないのではないかと思います。試験に合格することは、なかなか難しい状態だ。

(東京都・I病院)

現場では懸命に指導しても、途中で帰国、ガッカリ……！！

- 看護師が試行錯誤して日本語を教えながら、専門用語・知識を指導してきた。毎日、午前中は現場で業務をさせ、午後は学習に全て時間を費やしていた。
- なかなか合格できず、最後の1年間、契約が残っていたが、満了せずに候補者の希望で帰国してしまった。現場で指導していた看護師もがっかりしていたが、どうしようもない。

(大阪府・I病院)

EPA看護師候補者の日本語教育について

- 全国の受け入れ病院では、多くの病院が看護師だけで日本語教育指導を行っている。しかしながら、国家試験合格率を見ると、7年間平均で7.7%にしか過ぎず、非常に合格率の低さが問題となっている。
- 「現場の声」を聞くと、「日本人だから日本語くらいは教えられる」等の声もあり、また、外国人に日本語を教えることの興味深さが強くあるが、教育効果にはその熱意が反映されていないことは、確実だ。
- 日本語教育は、【客観的に、且つ、論理的に行う教育】であることを再認識する必要がある。よって、素人が手を出さず、言語の専門家に任せるべきだ。

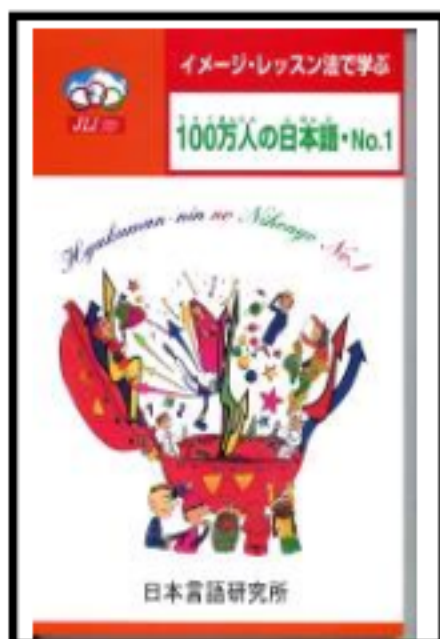
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・教材の無い会館
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

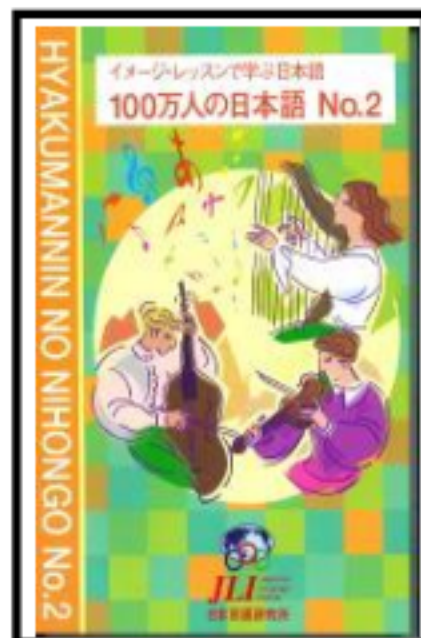
学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805円)

※ 習得漢字数 310字～620字
※ 習得語彙数 520語～1560語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805円)

※ 習得漢字数 420字～840字
※ 習得語彙数 570語～1,710語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。
論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。
仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,200円)
※ 習得漢字数 850字～1,700字
※ 習得語彙数 1,110語～3,330語

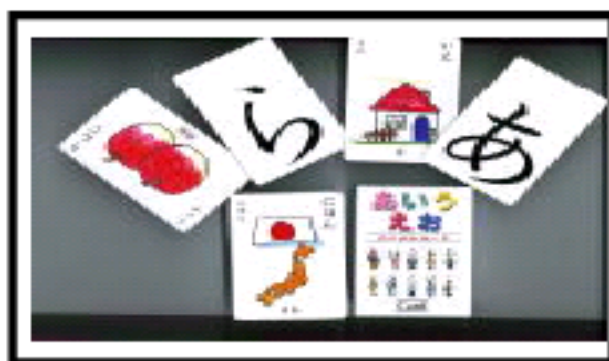
使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

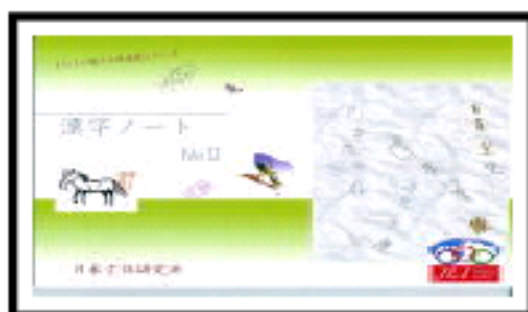
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されてされています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきど (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵かき(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

①職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

②類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

二年目

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

三年目

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職域言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習をさせる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」（語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な知識とその使い分け」ができる能力を中心として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		